



# 秘密保護法案



## 国民の知る権利、表現の自由を侵害

### 海外で戦争する国づくりがねらい！

安倍政権は、秘密保護法案を国家安全保障会議（日本版NSC）設置法案とセットで成立させようとねらっています。

日本の外交・安全保障政策の「司令塔」がNSC。米国と軍事戦略・情報を共有するために、米国並みの軍事情報保護体制が必要に—これが、秘密保護法の制定を急ぐ理由。ねらいは、米国と一緒に海外で戦争する国づくりです。



「秘密会」で知った秘密」を所属する党に持ち帰って議論することもできません。国権の最高機関であり国民の代表である国会が行政と官僚の監視下に置かれます。

### 国会議員も処罰の対象

「秘密」を持つ人から情報提供を受けると罪になります。情報提供がなくても、そのかした罪に…。新聞記者などジャーナリストの取材も処罰の対象です。政府は、『考慮する』と言っていますが、マスコミは萎縮してしまいます。

### 国民は真実を知る手段を失う

原発事故が起ころうとも、放射能が漏れても「秘密」になれば、国民は全く知らされません。思い出してください。3・11直後、政府は放射性物質の拡散データを国民に隠しました。こんなことが、大手を振ってまかり通るのです。今問題になっているTPPやオスプレイの飛行訓練、京都への米軍基地建設問題も国民の知らない間にどんどん進められます。

### 原発・TPP・オスプレイも秘密に

原発事故が起ころうとも、放射能が漏れても「秘密」になれば、国民は全く知らされません。思い出してください。3・11直後、政府は放射性物質の拡散データを国民に隠しました。こんなことが、大手を振ってまかり通るのです。今問題になっているTPPやオスプレイの飛行訓練、京都への米軍基地建設問題も国民の知らない間にどんどん進められます。



### 何が秘密か秘密—一般国民も対象

安倍首相が国会に提出した特定秘密保護法案。11月7日から衆議院本会議で審議入りしました。「外交・防衛の話で私には関係ない…」と思っていたら大間違いです。国民の知る権利や表現の自由が大きく侵害されます。「暗黒の日本」を許してはなりません。